

第二三章 サタン・人格と力

I サタンの人格

1 エゼキエル書 28：11－19 はサタンについて書かれていると思われる。この箇所は部分的、直接的にはある一人のツロの王に適用されるものであったかも知れないが、神のすべての被造物の中で最高の者が念頭に置かれているのは明らかである。

2 サタンの人格性を示す多くの箇所で次のものは特に注目に価する。

① イザヤ 14：12－15

この箇所ではサタンを最初の地位と栄光から墮落した者として見ている。ここで、彼は五つの具体的な点で神のみこころに逆らって、自分の意志を押し通す罪を犯した。

② 創世記 3：1－15

この箇所で、蛇の姿を通して現れたサタンの言葉と計画とは、彼が人格を持っていることを示す証拠である。(参照；Ⅱコリ 11：3、13－15、黙示 12：9、20：2)

③ ヨブ 1：6－12、2：1－13

これらの箇所で特に明示されているのは、サタンが人間に近づくことができるのと同様に(エペ 6：10－12、Ⅰペテ 5：8)、神に接近することもできること(ルカ 22：31、黙示 12：10)である。

④ ルカ 4：1－13

いと高き方のようになろうともくろんだ者は、同じ誘惑を最初の人に与えたように、最後の人キリストをも誘惑した。

⑤ エペソ 6：10－12

神の子たちに対するサタンの戦略と戦いは、サタンの人格性を肯定する証拠である。

II サタンの力

道徳的には墮落し、十字架でさばかれてはいるものの、サタンはその力と権力を失ってはならず、依然それらを行使している。

1 サタンの個人的力は測り知れない。サタン自身の宣言によれば、彼はこの世を支配する権力を持っている。(ルカ 4：6) 死の力を持つ者(ヘブ 2：14)、病気を支配する(ヨブ 2：7)、御使いのかしらミカエルさえ相手を打ち負かそうとしなかった(ユダ 9)しかし、神の子たちは、キリストと聖霊の力によって勝利することができる。(エペ 6：10－12、Ⅰヨハ 4：4、黙示 12：11)

2 サタンは悪霊どもに補佐される。サタンの力は、彼の思い通りに働き、仕える悪霊どもによって増大される。サタンは偏在、全知、全能ではないが、邪悪な悪霊どもを通して全世界と接触している。彼らはサタンの地球支配に重要な役割を果たし、サタンの力があらゆる所に現れるのを可能にしている。彼らは人間や、動物を支配し、影響を与える。(マルコ 5：2－5、11－13) 偽りの宗教や不信仰に陥れる。(Ⅰテモ 4：1－3) 彼らはキリストが神であることを知っている。(マタイ 8：28－32 他) また、自分たちが神によってさばかれる運命にあることも自覚している。